

[4.ケコミ板の取り付け]

作業手順	説明図
<p>①ケコミの切断。</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣接しているキャビネットのケコミ高さよりも0.5mm～1mm程度小さくなるようにしてください。ケコミ板取り付け穴から端面までの寸法が大きい方を切断してください。端面にバリなどがでないように仕上げてください。切断断面は黒色マジックなどで処理してください。 <p>②ケコミの調整。</p> <ul style="list-style-type: none"> 隣接するキャビネットのケコミ深さ(L1)を測定し、左右の調節ネジの出代(L2)を決定し調整ネジで調整してください。このときケコミ調整ネジの四角頭部の長辺が床面と平行になるようにしてください。 $L2 = 60 - L1 + 6$ <p>③ケコミ板の取り付け。</p> <ul style="list-style-type: none"> ケコミ板の裏面凸部にケコミ調整ネジの頭をはめ込んで、付属の黒色のタッピンネジを左右2カ所締め付けてください。凸部に確実にはめ込み、ガタツキがないことを確認してください。 	

[5.パネル(化粧板)の取り付け] 必要に応じて行ってください。パネルは別売品です。

作業手順	説明図															
<p>①パネルを右図に示す寸法に切断してください。</p> <p>②上部・左右6カ所のネジをゆるめてください。</p> <p>③下部2カ所のネジを取りはずしてパネルを押さえ(下)取りはずしてください。</p> <p>ワッシャーをなくさないよう注意しながらネジを取りはずしてください。</p> <p>シルバー色のキャビネットの場合、シルバーのパネルを取りはずしてから、パネルを取り付けてください。</p> <p>④必要な寸法にカットしたパネルを挿入し、パネルを押さえ(下)取り付けてから、すべてのネジを締め付けてください。</p> <p>パネル押さえは無理な力を加えますと曲がる原因になりますので、丁寧に取り扱いください。</p> <p>パネル押さえ取り付け時、ネジの締め付けには電動ドライバは使用せず、手締めをしてください。(ネジ山がくずれて閉まらなくなるおそれがあります。)</p>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>FP0501</td> <td>FP0502</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>433±1</td> <td>583±1</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>239±1</td> <td>280±1</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>6.5</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </table>		FP0501	FP0502	①	433±1	583±1	②	239±1	280±1	③	6.5	6.5	④	9	9
	FP0501	FP0502														
①	433±1	583±1														
②	239±1	280±1														
③	6.5	6.5														
④	9	9														

[6.スライド食器洗い乾燥機の取り付け]

- ①機器に同こんの据付工事説明書に従って設置してください。
- 機器に同こんの型紙(S)の内容を必ず読み、確実に型紙(S)をキャビネットに固定し、必ず転倒防止金具・移動防止金具を取り付けてください。

HARMAN 据付工事説明書

型式名
FP0501
FP0502

スライド食器洗い乾燥機用 キャビネット(アジャスター付)

工事される方へのお願い...この「据付工事説明書」を必ずお読みください。本キャビネットはスライド食器洗い乾燥機専用のキャビネットです。据付工事終了後、下記の「設置工事後の点検確認」のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。

設置工事後の点検確認

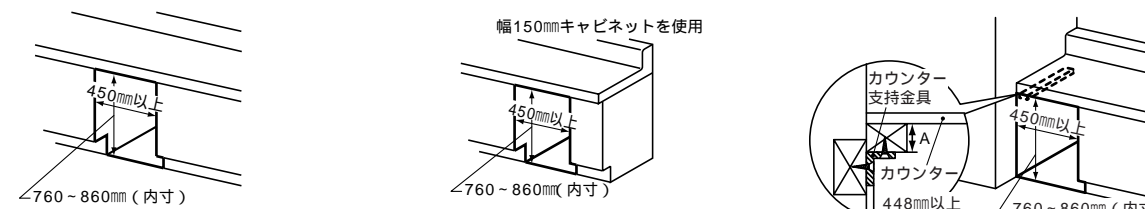
- チェックリスト

点検項目	点検内容	参照ページ	チェック
水平設置	水平に設置されていますか。		
安定設置	ガタツキはありませんか。		
転倒防止設置	キャビネットの固定が十分にできていますか。		
隣接キャビネットとの隙間	隣接しているキャビネットとのすきまは適切ですか。		

1.設置工事の前に

システムキッチンの収納部寸法(内寸)および取付に関する条件が下記を満足しているかご確認ください。

- ①中間にビルトインする場合
- ①片側がフリーの場合
 - 幅150mmのキャビネットなどを利用し、カウンターを支える処置をします。
 - ①片側が壁面またはトルクユニットの場合
 - カウンター支持金具は、別売りの天板補強材キット(FP0109)または市販のL金具を使用します。



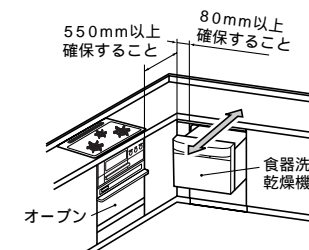
ビルトイン型加熱機器などと並べて設置する場合は、別売りの天板補強材キット(FP0109)でカウンターの補強を行ってください。

L型配列コーナー部に設置すると、本機器のドアを開閉する際にオープンなどの取っ手部に当たったり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。

本機器の金属部分が、家屋の壁中のラス網や金属板・流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。(電気設備の技術の解析第167条 平成9年により義務づけられています。)

キャビネット設置部にスライド食器洗い乾燥機の据付工事説明書に基づいた給・排水管および電源コンセントとアースの工事がされていますか。(事前に工事がが必要です。)

丈夫で水平な床であるか、確認してください。



2.同こん部品確認

次の部品が付属品として同こんされています。不足のないことを確認してください。

部品名	形状	数量	部品名	形状	数量
ケコミ板		1枚	当て木		1個
タッピンネジ(黒色)		2個	タッピンネジ(M4×18)		2個
			2 転倒防止ネジ(M4×28)		4本
1 転倒防止金具		1個	ナット(M8)		4個
タッピンネジ		2個	ワッシャー(M8)		4個
			高さ900mm調整板		2個

1・2は隣接キャビネットの構成により使い分けます。



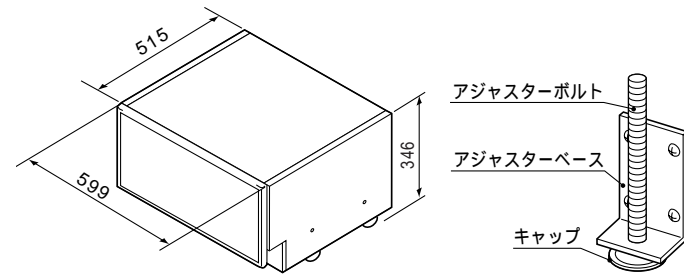
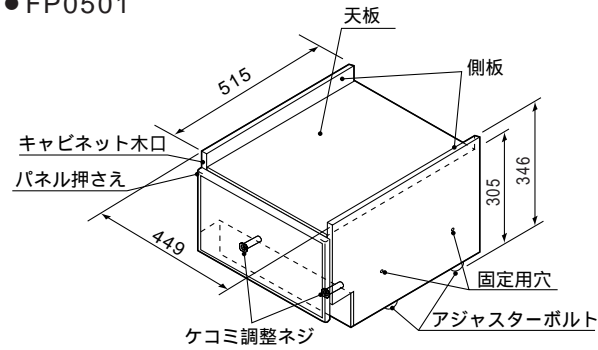
59185810

ケB58-01

3.各部の名前と寸法

●FP0501

●FP0502



4.据付工事手順

引き出しを取り出して、離れた場所へ置いてください。

[1.高さ調整]

作業手順	説明図												
<p>①スライド食器洗い乾燥機とカウンター前垂れとのすきまはFP0501は5mm以上、FP0502は2.5mm以上確保してください。</p> <p>②キッチン高さ(H1)およびカウンター前垂れ寸法(H2)をあらかじめ測定し、本キャビネット高さ(H3)をアジャスターボルトで調整してください。</p> <p>FP0501 $H3 = H1 - (450 + 5 + H2)$</p> <p>FP0502 $H3 = H1 - (408.9 + 2.5 + H2)$</p> <p>キッチン高さが公称800・850の場合 (内寸760・810mmの場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開こん状態のままで、必要に応じてアジャスターボルトの微調整のみ実施してください。(電動ドライバーでアジャスターボルトの頭を逆回しすれば簡単に作業できます。) <p>キッチン高さが公称860～900の場合 (内寸820～860mmの場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●付属の高さ900mm調整板をキャビネット両側板付近に置き、その上にキャビネットを乗せてください。(高さ900mm調整板は、両面テープなどで床に固定してください。) ●必要に応じてアジャスターボルトの微調整を実施してください。(電動ドライバーでアジャスターボルトの頭を逆回しすれば簡単に作業できます。) 	<p>●FP0501 ●FP0502</p> <p>●アジャスターボルト調整目安値Amm</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>公称</th> <th>FP0501</th> <th>FP0502</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>800</td> <td>7</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>850</td> <td>57</td> <td>59.5</td> </tr> <tr> <td>900</td> <td>77</td> <td>79.5</td> </tr> </tbody> </table>	公称	FP0501	FP0502	800	7	9.5	850	57	59.5	900	77	79.5
公称	FP0501	FP0502											
800	7	9.5											
850	57	59.5											
900	77	79.5											

[2.当て木の取り付け]

作業手順	説明図
<p>①当て木の位置は隣接キャビネットのケコミ面より10～11mmの位置に当て木の黒い面を前面に位置させ、付属のタッピンネジ(M14×18)で床面に直接締め付けてください。</p> <p>外観上当て木の黒色面を前方に向けてください。</p>	

[3.キャビネットの取り付け]

作業手順	説明図
<p>①スライド食器洗い乾燥機の収納空間に隣接するキャビネットの木口とキャビネット木口を同一面に合わせて設置し、天板の水平度を確認する。</p> <p>縦・横方向の水平を必ず確認してください。 アジャスターボルトの頭にドライバーを差し込んで微調整してください。</p> <p>②微調整が終了し水平が確認できたら、付属のナットとワッシャーを各アジャスターボルトに上から締め付けアジャスターボルトを固定してください。</p> <p>必ずナットとワッシャーをアジャスターボルトに締め付けてください。</p> <p>③キャビネットを固定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●隣接するキャビネットの側板の種類により、転倒防止金具と転倒防止ネジを使い分けます。側板の材質を確認してから、手順に従ってください。 <p>(a) パーチクルボードの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャビネット内側より隣接キャビネット側板に付属の転倒防止ネジを締め付け固定します。 <p>木口が同一面になっていることを確認して左右側板の手前の穴2つから締め付けてください。</p> <p>(b) フラッシュ(中空)およびビルトイン型加熱機器の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●後部2カ所のアジャスターボルトの左右どちらかに転倒防止金具を図(b)のように設置しネジ穴2カ所をキリなどで床面にマーキングしてください。 ●一度キャビネットを取り出し、マーキング部に2.5の穴をあけてください。 ●そこに転倒防止金具を付属のタッピンネジ(M4×18)で締め付けて固定してください。 ●キャビネットを再セットし、アジャスターボルトと転倒防止金具が接合していることを確認してください。 <p>(b-1)フラッシュの場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャビネット内側より隣接キャビネット側板に付属の転倒防止ネジを手前2つの穴に締め付けて固定してください。 <p>(b-2)ビルトイン加熱器が片方にある場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ●もう片方の側板の穴2つに転倒防止ネジを締めて固定してください。 <p>必ずキャビネットを固定してください。 スライド食器洗い乾燥機の移動防止および転倒を防止するものです。</p>	